

柴田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

柴田町教育委員会では、平成23年度から実施してきた「柴田町協働教育プラットフォーム事業」を引き継ぎ、家庭・地域・学校の協働による教育活動を通じた家庭・地域の教育力の向上や学校教育の充実、子供たちの健全育成や地域住民の自己実現と社会参画の推進を目的とした「柴田町協働教育推進事業（地域学校協働活動推進事業）」を実施している。

2 地域学校協働本部について

平成26年度から設置している柴田町協働教育推進委員会を、平成29年度から地域学校協働本部と位置付けし、委嘱された推進委員が年2回、事業の方向性や現状、課題等を共有している。また、平成26年度からコーディネーターを配置。平成30年度からは経験豊かな地域コーディネーターを統括コーディネーターに委嘱し、令和元年度からは地域学校協働活動推進員として、統括コーディネーターと地域コーディネーターによるコーディネート体制の組織化を実現。学校並びにボランティアがともに目的を共有できるよう工夫し、両者の負担を軽減した結果、地域学習や地域貢献活動等、子供たちが地域の「もの・こと」と関わる活動まで広がりを見せている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援活動

事業名	内容	備考
子育て・親育ち講座	町内各小学校の就学時発達検査の待ち時間を活用し、家庭における基本的なしつけの重要性について保護者が学ぶ機会を提供。 ◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏 ◆講師：県家庭教育支援チーム地域実践 リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏	柴田町子育てサポーター「すきっぷ」には講話講師に加え、講話サポートやアイスブレイク、子供の見守りを依頼。 会場：町内6小学校 参加：243名
イクメン講座	父子のふれあいや父親の積極的な育児参加を促すとともに、父親同士の交流を深めながら子育てについて楽しく学ぶことをテーマとした講座を開催。 ◆講師：柴田町地域おこし協力隊 吉田謙治氏，森井亮多氏	【参加親子3組8名】
親のみちしるべ 出前講座	宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用し、子育て中の親同士等が交流を図りながら親自身の気付きや子育てについて学び合うための出前講座を開催。	子育て支援ネットワーク協議会及び子育てサークル代表者会議にて、活用呼びかけ。

<p>子育て・親育ち 思春期講座</p>	<p>中学校入学説明会を活用し、保護者に子供の中学校入学前の心構えとして、思春期の特徴や親としての関わり方を学ぶ機会を提供。</p> <p>◆作成・指導：県家庭教育支援チーム協議委員 中保良子氏</p> <p>◆講師：県家庭教育支援チーム地域実践 リーダー 柴田町子育てサポーター「すきっぷ」 佐々木恵美氏</p>	<p>【参加（予定）308名】</p> <p>①船岡中学校 147名 （船岡・東船岡小学校）</p> <p>②槻木中学校 89名 （槻木・柴田小学校）</p> <p>③船迫中学校 53名 （船迫小学校）</p> <p>④西住小学校 19名</p>
<p>「子育て支援ネットワーク協議会」を通じた連携と情報交換の強化</p>	<p>子育て支援に関する事業の企画・立案や柴田町子育てサポーターの養成・派遣、関係機関・施設間の連絡・連携体制の強化を図ることを目的に年4回開催。</p> <p>◆事務局：子育て支援センター</p>	<p>構成員 13名（子ども家庭課，健康推進課，生涯学習課，幼稚園，保育所，児童館，社会福祉協議会，子育てサポーター，子育て支援センター（事務局））</p>



【子育て・親育ち講座】



【イクメン講座】



【子育てリラックスサロン】

(2) 地域活動

事業名	内容	備考
<p>柴田町子どもフェスティバルの開催</p>	<p>子ども会育成会連絡協議会，柴田町教育委員会の共催事業。子供が一堂に会し，地区子ども会等が設けた遊びのコーナーで様々な体験をする。異年齢集団や異世代間，親子の交流の場を提供する。</p>	<p>【来場者 203名】</p>
<p>ジュニア・リーダーの育成</p>	<p>子ども会活動の活性化，次世代のリーダーを育成。初級研修会・町技術研修会の実施。中級・上級研修会への参加。子ども会活動，子どもフェスティバルへの派遣。姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修・交流会の実施。定例会・自主企画イベントの開催。 在籍数：高校生10名，中学生3名 計13名</p>	<p>・初級研修会 10/16 参加2名， 11/19～20 中止</p> <p>・中級研修会 7/9，10 参加2名</p> <p>・上級研修会 参加者なし</p> <p>・町自主企画（括弧内はJL参加数） 8/6 参加9名（4名） 12/18 参加17名（3名） 2/15 開催予定</p>



【ジュニア・リーダー初級研修会】



【ジュニア・リーダー自主企画】



【子どもフェスティバル】

(3) 学校支援活動

事業名	内容	備考
しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)の派遣	学校の支援要請に応じて「しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)」を派遣する。 この活動は、地域と学校が連携・協働して、幅広い地域住民の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域の人と人とのつながりをつくることを目的としている。	・登録者数(1月現在) 個人39名, 任意団体22団体(229名), 事業所等45事業所 計268名(延べ人数)
キャリア教育支援 ①職場体験学習受入 事業所等と学校との 連絡調整 ②ビジネスマナー講座 の開催 ③キャリアセミナー(職 業人の話を聞く会)の 開催	町内中学校が推進する「志教育」, 「進路指導・キャリア教育」等の教育活動を教育委員会や地域が支援する体制を整備し, 学校教育の充実を図る。 ①町内3中学校の職場体験学習の実施にあたり, 学校支援活動事務局(生涯学習課)が窓口となり, 町内の事業所等に職場体験学習の受入依頼, 連絡調整を行う。 ②職場体験学習の事前学習として, 大河原商業高等学校の出前講座「職場体験学習に向けたマナー講座」を実施する。 ③学校, 教育委員会との協働により, 町内外の様々な職業人との車座によるふれあいや講話を通し, 進路に関する意識を高め, 今の学校生活が将来の生活に結びついていることを確認する機会をつくる。	① 引受事業所数64事業所 ② 船岡中2学年(151名) 槻木中2学年(91名) 船迫中2学年(67名) ③ 参加予定者数と講師数 ・船岡中1学年(147名) ※講師(22名) ・槻木中1学年(85名) ※講師(15名) ・船迫中1, 2学年(149名) ※講師(20名)
協働教育推進委員会(地域学校協働本部)の開催	平成26年4月より設置。年2回開催。地域学校協働本部として, 協働による教育活動を通じ家庭・地域の教育力の向上を図るとともに, 学校教育の充実や子供たちの健全育成, 住民の生きがいや, やりがいづくりを推進する。また, 委員相互の連携を深めながら情報を共有し, より良い地域学校協働活動推進のために資質の向上を図る。	校長会担当校長, 町内小中学校地域連携担当教諭, 教育委員会各課・生涯学習施設職員, しばたっ子応援団員, 生涯学習課職員(事務局)の計26名で構成

しばたっ子応援団(学校支援ボランティア)研修会	地域と学校が連携・協働した教育活動の充実に向け、学校のニーズに合った活動のボランティアの役割を再確認する。また、学校とボランティアの交流・情報交換を通じ、協働することの有効性の共通理解を高め、地域全体で子供たちの健全育成を図る。	8月10日開催 参加20名：協働教育推進委員(地域学校協働本部員)、しばたっ子応援団員、地域学校協働活動に関心のある教職員等
-------------------------	--	---



【キャリア教育プログラム】



【職場体験学習】



【しばたっ子応援団研修会】

4 成果と課題

(1) 成果

①家庭教育支援活動

- ・新型コロナウイルス感染症を考慮しながら、今年度も全校で「子育て・親育ち講座」及び「子育て・親育ち思春期講座」を開催予定である。「子育て・親育ち講座」では個人ワークの時間を増やすことで、アンケートの満足度の増加が見られた。また、子育て中のママたちが交流する「子育てリラックスサロン」を開催することができた。
- ・町内の幼保児小中、子育て支援センター、子ども家庭課、健康推進課、社会福祉協議会との連携、情報交換を密にすることにより、町として効果的な家庭教育支援体制を構築することができた。

②地域活動

- ・今年度はコロナ禍になってから下火になっていたジュニア・リーダーの派遣依頼が来るようになり、少しずつ活躍の場が増えた。また、研修会や活動等とおし、ジュニア・リーダーの資質向上を図ることができた。
- ・4年ぶりに柴田町子どもフェスティバルを開催することができた。町内の児童が楽しむ顔を見ることができ、子ども会や育成会、ジュニア・リーダーなどの活躍の場として充実したものとなった。

③学校支援活動

- ・例年の活動に加えて大河原地方振興事務所のキャリア教育プログラムを活用した体験学習など新たな活動があった。また、他の学校で実施している活動を自分の学校でも取り入れるといった、協働教育推進委員会で横のつながりを作ってきた成果が見られた。
- ・各コーディネーターが中心になって地域連携担当の先生や担当の先生のアイデアを形にすることができた。

(2) 課題

関わっていただいているボランティアの高齢化による担い手不足などの課題はあるが、喫緊の大きな課題はないため、今後も継続して地域学校協働活動を実施し、児童・生徒に切れ目なく、安定した学習の機会を提供することができるように、関係機関と協議・連携し、事業展開を図る。

柴田町 柴田町立槻木小学校(科学クラブ) 「ものづくり体験」

○市町名 柴田町

○学校名 柴田町立槻木小学校

○期 日 令和4年9月7日(水)

○内 容

- ・クラブ活動(科学クラブ)
- ・「キャリア教育プログラム『ものづくり体験編』」
- ・コマ作り体験で企業との交流をとおり、地元企業の技術力の高さを理解し、ものづくりへの興味・関心を喚起する。

○講 師

株式会社 岩沼精工

代表取締役社長 千葉 厚治 氏



指導補助

株式会社 ヒキチ

取締役社長 熊谷 裕一 氏

イケダ工機 株式会社

代表取締役社長 池田 広史 氏



○児童の声

「モノ」がどのように作られるのかについて、一から工程を教えてもらい、とても勉強になりました。コマ作りも楽しかったし、普段見ているものの見方も変わりました。楽しいコマ作り体験をさせていただきありがとうございました。

(6年1組 平間 勇多さん)



コマを作るには、デザインや製造、協力企業を探すところから、販売、売れ行きをチェックするところまで大変だなと思いましたが、面白いなとも思いました。コマ作りは、とても楽しかったです。

(5年1組 菊地 柊さん)

100キロの力をかけないと金属がくっつかないと聞いたときはびっくりしました。でも、機械を使ったらすぐはまったので、また驚きました。自分で作ったコマが回ったのでうれしかったです。

(5年2組 佐藤 春樹さん)



コマの大会があると聞いて、どんなコマがあるのかわくわくしました。体験の時に見せてもらったコマは、ドラえもんのとけコプターのようなコマでびっくりしました。

(5年1組 高森 日菜さん)



私は作ったコマが長い時間回って、とてもすごいなと思いました。また、どうしたらこんなに長く回るようになるのだろうと思いました。コマを作るのはとても楽しかったのでまた作りたいです。

(5年1組 酒井 杏珠さん)

○講師から

「将来の職業を考える選択肢の中に『ものづくり』に関わる仕事を！！」こんな想いをずっと抱いておりました。

小学校で「ものづくり体験」ができれば、子どもたちの将来の選択肢が大きく広がると思い、この授業を実施して、子どもたちに「驚き」と「気付き」を提供しています。

自分たちでも「楽しい」ことを作れるということを実感したり、さらに身の回りにある物がどのように作られたのか考えてみたりすることが、今の子どもたちに必要なことだと、授業をする度に感じています。

株式会社 岩沼精工

代表取締役社長 千葉 厚治 氏



○担当の先生から

普段できない体験をさせていただいたので、児童も大変喜んでおりました。児童の興味、関心、意欲が引き出され、柴田町の主産業でもある工業について、体験しながら主体的に学ぶ姿が印象的でした。



○教育事務所から

地域の企業(プロ)の方から直接指導を受け、「本物」の素材や道具を使って作る自分だけのコマは、世界に一つだけの宝物のようでした。講師の話真剣に聞き入る目、ドキドキしながら製造工程を体験する様子、自分の手で完成させたコマが勢い良く回ったときの喜びなど、多くの場面で「ものづくり」の楽しさや魅力を味わうことができました。「将来、私も『ものづくり』の仕事をしてみたい」「私はデザインを考えたい」といった声も聞こえてきました。自分の将来に対して地域の大人の姿をとおして主体的に考え、夢や希望を抱くことができた、素晴らしいキャリア教育の取組でした。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)

柴田町立船岡小学校
Funaoka elementary school

〒989-1604 宮城県柴田町船岡東1丁目2番60号
Tel 0224-55-1064 Fax 0224-55-5185
児童数 517名 P会員数 396名

学校教育目標

豊かな心を持ち 自ら考える たくましい児童の育成

児童の頑張りを応援する合言葉 **いい知恵(知) いい汗(体) いい笑顔(徳)**

特色ある協働教育

地域協働ボランティアの活用



トヨタカローラ様の出前授業

「しばたっ子応援団」に登録している地域人材のボランティアの方を招いて、進級卒業準備活動を行っています。昨年度は、トヨタカローラ様に実車を通じていただき、授業を行いました。

志教育の推進



キリバスの方との環境学習

人との出会いを大切に、「かわる」「もとめる」「はたす」の視点から、志教育に取り組んでいます。

地域理解教育の推進



ゆず生産組合様へリモートで取材

地域を取材し、総合的な学習の時間で探究の学習を行っています。地域を知り、地域を愛する人材育成に取り組んでいます。

柴田町立槻木小学校

〒989-1758 宮城県柴田郡柴田町槻木駅西2-14-1
TEL 0224-56-1029 FAX 0224-56-4617
児童数 455名 PTA会員 355名

地域と連携した教育活動(読み聞かせ, 総合的な学習の時間, ゲストティーチャー)



読書ボランティアの協力により、読み聞かせを行い、児童の読書への関心を高め、豊かな心を育てています。



農家の方々の協力を得て、田植えや稲刈りなどの活動を行い、地域や自然を愛する心構えを育てています。



「しばたっ子応援団」からゲストティーチャーを招いて学習を行い、自分たちの町の未来について、考えを深めています。

柴田町立柴田小学校

〒989-1761 宮城県柴田郡柴田町大字城坂字殿治内30
Tel 0224(56)1430 Fax 0224(56)1618

児童数 46名 P会員数 32名

伝統を引き継ぐ「大黒舞」



地域の方に教えていただいた伝統芸能「大黒舞」を大切に引き継いで、機会あることに披露しています。

地域の伝統を紹介(紙芝居)



地域の伝説を紙芝居にして紹介していただいています。自分の地区の伝説はわくわくします。

廃寺跡のみなさんインタビュー



毎朝お世話になっている廃寺跡の皆さんに1年生がインタビュー。いつもありがとうございます。

地域の方からの学び



毎年、地域の方に書きそめの習字を教えてください。作品が上手になっていきます。

柴田町立船迫小学校

〒989-1622 宮城県柴田郡柴田町西船迫三丁目1の3
電話 0224-55-5394 FAX 0224-55-1262

児童数348名 PTA会員数274名

地域と協働して開かれた学校づくりに努める

学習支援ボランティア



「しばたっ子応援団」を活用し、「船迫の歴史」を体験活動を通して学んだ。

安全ボランティア



地域の皆様に毎日、児童の登下校時の安全を見守っていただいている。

福祉体験活動



社会福祉協議会の方に御支援をいただき、「点字」のしくみを学んだ。



〒989-1606
宮城県柴田郡柴田町大字船岡字大住町16-1
電話 0224 (53) 3227 || FAX 0224 (52) 0615

児童数 108名
P会員数 82名

地域と連携した教育（協働教育）活動



総合的な学習の時間の一方で高学年児童が地域の清掃活動に取り組みます。4年生は、旭巖に交差活動期間を毎年実施しています。1～3年生は、公園の花壇への花植えを地域の方と一緒にしています。



柴田町と仙台大学との連携により「未来先生(大学生)」が様々な学校に入り、児童への支援や担任の補助をいただいています。昨年度は、体力・運動能力向上の補助や元気いっぱいしばっ子応援の指導など、新たな取組も始めています。



柴田町教育委員会と連携した「放課後学習室」には、例年40名ほど年に1回、児童への支援や担任の補助をいただいています。毎週、水曜日と金曜日の放課後、それぞれの学習課題を持ち寄り、進んで学習に取り組んでいます。



ボランティア組織「しばっ子応援団」から、英語体験、木工教室、樹木の剪定等、様々な形で学校の支援をいただいています。これらがこの活動を背骨環境となっています。

家庭で育み、学校で教えて育て、地域で育成する「地域とともに歩む学校」を目指して



〒989-1611 宮城県柴田郡柴田町大字上名生字下中川93-1
TEL 0224-66-1811 FAX 0224-66-2516

児童数276名
P会員数213名

読書支援 防災安全支援 学習支援 東船岡秋祭り



読書タイムの読み聞かせや、図書室運営協力（蔵書・図書環境整備）を行っています。



下校時に地域の方が通学路で安全を見守る活動を行っています。



地域の方が講師となったり、仙台大学学生が学習を手伝ったりしています。



児童とPTA、地域の方が一体となって「東船岡秋祭り」を開催しています。

柴田町立船岡中学校 (Saijima Town立 Funaga Junior High School)

教育目標：豊かな品性・強い心身・確かな知性をそなえた生徒の育成



〒989-1606 宮城県柴田郡柴田町大字船岡字七作26 TEL 0224-55-1162 FAX 0224-55-5444
生徒数 463名 P会員数 430名



総合的な学習の時間では、3年間を通してキャリア教育を中心に志教育の視点である「かかわる」「もとのる」「はたす」を具体的に実践しています。



「花のまち楽園」をふるさととする生徒に、「さくら」の美しさを愛護させ、ふるさとの良さを伝えられる公民の育成を目指した取組です。学年の連帯感にもつなげています。



安全教育として総合的な学習の時間に防災学習を行っています。写真は町の社会福祉協議会と協働した授業の様子です。



〒989-1757 宮城県柴田郡柴田町槻木東2-3-1

TEL0224-56-1331 FAX0224-56-4267

生徒数 292名
P会員数 271名

あいさつ運動

地域の方と一緒にあいさつ運動をしました。

地域に貢献し隊

自分が住んでいる地域の清掃活動を地域の方と一緒に行いました。

地域の教育力

1年生の学習で地域の方から、自分たちの住む地域の歴史を教わりました。



柴田町立船迫中学校

〒989-1622 宮城県柴田郡柴田町西船迫4-1-2 生徒数 206名
TEL 0224-54-1225 FAX 0224-54-1226 P会員数 187名



職場体験学習

柴田町生涯学習課の協力を得て、生徒の将来の夢実現に向け、職場体験学習を2日間、2学年で実施。



キャリア教育セミナー

地元の職業人を講師に迎え、将来をテーマにした講義を開催。多くの講師に本校いただき視野を広げている。



ラベンダー作り

校地のラベンダーで作ったラベンダースティックやポプリを公共施設へ配布する。地域人材を活用した地域貢献活動。

川崎町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

本町では、地域全体で子供を育むために、家庭・学校・地域をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じて、家庭・地域の教育力の向上を図り、協働教育を一層充実させることを目的に「かわさきっ子応援団」を組織し活動しています。

今年度も家庭教育支援，地域活動支援，学校教育支援の3つの活動を軸に，豊かな自然環境を活かした地域の特色ある協働教育活動を展開していきます。

2 地域学校協働本部について

※地域学校協働本部は未設置

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育サポートチームの設置	町内の子育てサポーターとの定期的な情報交換を行い、子育てサポート状況を把握・推進する。	幼児教育課・子育て支援センター職員と連携 各種講座・研修会へ参加
「おひさまカフェ」(子育てカフェ)の開催	子育て中のママと子供たちに、子育てサポーターが体験活動とおした親と子のふれあいの場を提供する。子育てに関する不安を和らげ、親の育ちのきっかけづくりを行う。	公民館講座として開催 子育てサポーター6名 年2回開催
家庭教育学級 幼児教育学級	学校・PTAが主催する家庭教育・幼児教育講座の支援。	研修会，講演会等の講師に支払う講師謝金の補助
スポーツ少年団交流会	スポーツ少年団の団員交流会を通して、子供たちだけではなく、指導者・母集団同士の連帯意識を強める。	スポーツ少年団体：6団体
親子バレーボール大会	バレーボールをとおして親と子の対話を深め、友情や連帯感等の社会性を身に付け、体力の向上を図る。	低学年・小学生の大会を年2回開催 ボールは家庭バレーボールを使用



子育てサポーター活動



スポーツ少年団交流会



親子バレーボール大会

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
教育講演会の開催	夢の実現に向けて、確かな学力と生きる力の育成を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・志教育講演会 ・学びの支援講演会 	児童生徒及び保護者対象
地域資源を活用したプログラム	豊かな自然環境の中での体験活動を通じた郷土愛の育成を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生わくわくデイキャンプ ・6学年親子キャンプ ・カヌー&SUP体験 	
世代間・異年齢交流	子供から大人まで年齢を問わない相互の交流・親睦を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・かわさき朗読会 ・川崎レイクサイドマラソン (運営ボランティア活動) ・中学生保育実習 ・幼高さつまいも苗植え交流 	
ジュニア・リーダー事業	ジュニア・リーダーとしての資質の向上 (中学生・高校生対象) <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への参加 ・管内交流研修会等への参加 ・地域活動への参画 ・自主企画行事の計画・運営等 	川崎町ジュニア・リーダー サークル P・T・E 会員数：高校生16名 中学生 7名 (令和5年1月現在)



J・L初級研修会



BG塾支援 (お釜登山)



J・Lハロウィンパーティー



マラソン大会ボランティア



J・Lクリスマス会



J・Lの地域活動

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
本の読み聞かせ	児童への本の読み聞かせ ・ボランティアの活動 ・サークル「絵本ママ」活動	各小学校, こども園等 朝の学活の時間帯実施
校外学習活動	校外における学習活動への支援 ・役場見学(議会体験) ・町探検学習 ・清掃活動(ゴミ, 空き缶回収) ・そば打ち交流会 ・社会見学等補助 ・スキー・そり教室支援 ・収穫祭(地域交流) ・史跡案内(山城見学・土器拾い)	地域ボランティアが活動支援 ・かわさきこども園 ・富岡幼稚園 ・川崎小学校 ・川崎第二小学校 ・富岡小学校 ・川崎中学校 ・富岡中学校
学習活動支援	学習活動への支援 ・戦争体験講話 ・部外活動講師派遣 ・昔あそび, しめ縄づくり ・農業体験学習支援 ・地域学習支援 ・防災教育支援	地域ボランティアが活動支援 こども園, 幼稚園 小・中学校 放課後児童教室
セカンド・スクール事業	町内の施設が第2の学校, 家庭の機能を果たしながら, 子供たちが自然の中で様々な体験活動を行う長期集団宿泊事業 ・野外活動支援 ・レクリエーション指導 ・自然体験活動等	町内小学5年生を対象に実施 学校・家庭・大学・行政が一体となり事業を実施
水辺の安全教室 (水の事故ゼロ運動)	水辺における水難事故を自ら防ぐ学習活動と海洋性スポーツの楽しさの普及 ・紙芝居による解りやすい説明 ・着衣泳, ペットボトル浮遊 ・カヌー試乗体験	B & G海洋センター職員が中心となった指導者会が講師として活動
伝承芸能指導	地域に伝わる伝統芸能の伝承を図るため, 子供たちの興味・関心を促し, 将来の担い手につなげる活動の推進 ・支倉豊年踊り練習 ・川内太鼓練習 ・その他伝承伝統芸能	地域住民による伝承芸能の指導



防災教育（避難所運営体験）



施設見学（議会体験）



史跡案内支援（川崎要害地）



農業体験学習支援



職場体験支援



小学生わくわくデイキャンプ



セカンドスクール支援



地域学習活動支援（土器拾い）



すずらん採取

4 成果と課題

- 学校地域連携担当者との連絡体制の整備（連絡会議の定期的な開催）。
- 学校現場との情報交換を行い、授業づくりに役立つ支援対応を確立する。
- ボランティア登録者の活躍の場を拡大する。
- ボランティアの活動の場を「学校」のほかに、地域へと広げていく。
- ボランティア活動が「地域貢献」、「生きがい」、「人と人のつながり」、「町づくり」へとつなげていくこと。
- 町独自の視点で、協働教育を推進するための体制整備を図る。

■ボランティア登録者（令和5年1月現在）

個人	273名
団体	97名（8団体）
合計	370名

川崎町 川崎町立富岡小学校 「さつまいも収穫」

○市町名 川崎町

○学校名 川崎町立富岡小学校

○期 日 令和4年10月17日(月)

○対 象 川崎町立富岡小学校
第1～3学年

○内 容 「さつまいも収穫」

- ・1, 2年 生活科
「大きくなあれ, わたしの野菜」
- ・3年 総合的な学習の時間
「野菜博士になろう」

○ねらい 植物を継続的に栽培する活動とおして, 植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに, 生き物に親しみをもち, 大切にしようとすることができるようにする。

○地域の方

〈J A 宮城仙南川崎支部青年部〉

神崎 安弘 氏
佐藤 健一 氏
岩渕 正樹 氏
佐藤 秀昭 氏 ※事務局



さつまいもの収穫方法を神崎安弘さんから
教わっている子供たち

○児童の声

・J Aの人たちがさつまいものとりかたをおしえてくれました。さつまいもをぬいたり, ほったりするのがたのしかったです。できたさつまいもはおおきかったです。

(1年 まかべ いちか さん)

・さつまいもほりをしました。できたさつまいもをふかしてたべたらおいしかったです。さつまいもをたべたとたんに, からだがポカポカとあたたまりました。そして, げんきができました。

(1年 はやさか いと さん)

・1年生のときはかれてしまったけれど, 今年のはっぱが大きくそだったのでうれしかったです。つるがこんなにのびるということが分かりました。そして, さつまいもがとても大きくなるのにびっくりしました。

(2年 さとう はると さん)

・1年生から3年生までのみんなで協力して楽しみながらさつまいもほりをすることができました。さつまいもは大きいものや小さいものなど, いろいろな形のものがあることが分かりました。今回, 大きなさつまいもをしゅうかくすることができたのが一番の思い出です。

(3年 笹間 希音 さん)

・わたしたちは2年生の時に, 自分たちでさつまいもを育てましたが, かれてしっばいしてしまいました。J A青年部の方々にていねいに教えていただき, また, 自分たちでも水やりなどをがんばり, 今回は大きなさつまいもがたくさんとれてうれしかったです。やきいもにして食べたいです。

(3年 佐藤 みやび さん)



○地域の方から

今年から富岡小学校で J A 宮城仙南川崎支部青年部の活動である食育活動を行いました。5月に川崎町で新規就農した「おいもや芋蔵」を営むさつまいも農家の岩渕正樹さん (JA 青年部) の指導のもとに植えたさつまいもを、10月に子供たちと一緒に収穫しました。

子供たちはとても素直で一生懸命説明を聞いてくれて指導した甲斐がありました。

また、たくさんさつまいもが収穫できたこともよかったです。

J A 宮城仙南川崎支部青年部一同



○教職員の声

5月にさつまいもの苗植え、10月にさつまいもの収穫について御指導、御支援いただきました。また、ここ数年本格的に畑を使用していなかったので、苗植えの前には耕す作業も御協力いただき大変助かりました。

当日は、1～3年の児童に分かりやすく説明していただいたおかげで、児童が意欲的に、そしてスムーズに活動することができました。特に、大きなさつまいもが収穫できた時の児童の驚きと喜んだ顔が印象的でした。充実した体験活動となりました。ありがとうございました。

(担当 山下 和範 先生)



たくさんさつまいもを収穫できました！

○教育事務所から

収穫の時を心待ちにしていた子供たちの瞳の輝き、地域の方に手助けをいただきながら大きなさつまいもを手にした子供たちの喜びの表情がとても素晴らしかったです。子供たちの笑顔や満足感を引き出すために、地域の方が日常的に支援されているので、地域の方と子供たちや先生方との心の距離感がとても近く感じました。今後も様々な連携・協働活動が展開され、携わる方々にとって実り多き日々になりますことを祈っております。





川崎町立川崎小学校



〒989-1501 宮城県栗原市川崎大字前川字盤山5-1
電話番号 0224-84-2004
FAX番号 0224-84-4352

児童数 208名
P会員数 174名

【食に関する指導】

【川小の伝統の継承】

【スキー教室】

【サツマイモの栽培】



栄養教諭や管理栄養士の先生から栄養学や食事の摂り方について学びました。



地域の先生から学び、「川小太鼓」「常盤音頭」を学習発表会や地域の祭りで披露しています。



地域の方を講師にスキー教室を行い、川崎町の大自然の魅力を感じ、満喫しています。



農業技術指導員の方から指導していただき、サツマイモの栽培を行いました。収穫の喜びを味わいました。



川崎町立川崎第二小学校

協働で共に歩む学校



〒989-1502 宮城県栗原市川崎大字今宿町京1
電話 0224-94-2054 FAX 0224-85-1415

児童数 346名
P会員数 346名

水辺の学習

北川で、自然の素晴らしさと安全について体験学習



しなごまつり

お世話になっている方々への児童会主催の感謝の会



特産品の栽培

地域の特産品である「どぼ」を種から育てる栽培活動



スキー・そり教室

学区にあるスキー場で、コース別の講習会



川崎町立富岡小学校

〒989-1507 宮城県栗原市川崎大字支倉字川向49-5

電話 0224 (86) 2003
FAX 0224 (82) 8010
児童数：60名 P会員：45名



地域と連携した教育活動

家庭・地域・学校が目的を共有し、信頼関係のもとでそれぞれの役割を担う協働教育

各学年の授業



防災教育や育導大体験、歯科保健指導、顔の整備など、各学年の授業でそれぞれ地域の方から教えていただき、充実した学習活動を展開しています。

支倉豊年踊り



支倉豊年踊り保存会の皆様に「支倉豊年踊り」を教えていただき、本校運動会や地域の「支倉まつり」で披露しています。

こ・幼・小交流



こども園・幼稚園園児との交流により、園児の小学校へのスムーズな移行と、小学生のやさしい気持ちを育みます。



川崎町立川崎中学校

全校生徒数：138名
(1年35名, 2年42名, 3年61名)
PTA会員数121名
校長 加藤 敏光

〒989-1901 宮城県川崎町大字前川字伊勢原12
電話 (0224) 84 - 2029
FAX (0224) 85 - 1695
Email kawasaki-jhs@smile.ocn.ne.jp



「自立」し、社会に「貢献」する生徒の育成を目指して

職場体験学習 (2年)



志教育の充実を目指し、町内事業者の御協力を得ながら、職場体験を2日間実施しています。産学では学べない様々な体験を通し、社会的・職業的自立に向け、基礎となる能力や態度を育みます。

ボランティア活動 (3年)



町最大のスポーツイベントである「レイクサイドマラソン」に、3年生がボランティアとして参加します。事前準備に加え、受付係やゴールしたランナーを誘導する係などの体験を通し、地域社会の一員として、地域を支え、社会に貢献する川中生の育成を目指します。

防災教育 (2年・3年)



防災学習として、1年生は震災遺構中浜小学校を見学し、2年生は消防士の講演や消火訓練の指導を受け、3年生は、防災士から段ボール避難所の作成指導を受けました。防災教育を系統立てて学習しながら、地域の方をお招きして、防災の大切さを学んでいます。



TOMIOKA junior high school

989-1507 宮城県栗田郡川崎町大字支倉字落田郷山8-3 電話 (0224)86-2007 FAX(0224)82-8922

生徒数 33名 会員数 29名



川崎町立富岡中学校



すずらんの心 思いやり 感謝 奉仕 助け合い 自然愛



豊年踊り

豊年踊りとは、宮城県王豊年踊り。昭和55年の保存会の方々に指導いただき、毎年、文部省で披露しています。



すずらん採取

すずらん採取は富岡中学校の10年以上続いている伝統的活動です。旧校舎の跡地にあるすずらんを採取し、修学旅行や職場体験先で様々な方々へお土産として手渡しています。



農業体験

八みやぎ仙前のご協力を得て里芋を育てています。収穫した里芋は芋煮に、地域の方や幼稚園児と一緒に楽しく味わっています。

丸森町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

平成24年度から協働教育プラットフォーム事業委託を受け、教育基本方針に位置付けるとともに、これまで進めてきた学社連携・融合における事業等を協働の視点から再検討し、既存の組織や団体等と役割分担を図りながら事業を推進している。

子供たちの学習環境を整えるため、また地域住民が生涯にわたって学習を続けていくため、家庭・地域・学校が協働し教育環境を整え、「いつでも、どこでも、誰でも」学び続ける協働の社会を目指して事業の充実を図った。

2 地域学校協働本部について

平成元年から丸森町生涯学習推進協議会を設置しており、当町における生涯学習に関する必要な事項について協議し、町民の自主的・主体的な生涯学習活動の推進を図っていることから、本協議会が地域学校協働に関する評価及び検証を行う組織として位置付けている。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
家庭教育セミナー	丸森町子ども会育成会、丸森町PTA連合会と共催。心豊かな健全育成を目指し、家庭教育の意義や重要性を認識し、家庭・学校・地域が連携して役割を果たすための共通理解を図ることを目的に家庭教育セミナーとして講演会を開催。 ・講演：「相手も自分も大切にするコミュニケーション」 ・講師：(一社)JCMA 代表理事 吉井 奈々 氏	
家庭教育支援講演会等事業	家庭教育活動を推進するため、教育委員会と連携して、町内小中学校単位PTAで開催する家庭教育講演会を支援・推進し、保護者の学習活動の充実を図ることにより、家庭教育の向上を図る。 【丸森小学校PTA】 ・テーマ：「いのちと時間」 ・講師：青空応援団	
セカンドブック事業	新たに小学校へ入学する児童に本を提供し、子供たちが本に親しみ、本を読む喜びを感じてもらうことで、将来的な読書活動を促す。 また、保護者に読み聞かせをする機会を持ってもらうことにより読書の大切さを感じてもらう。 ・対象者 町内の小学1年生児童 74名	

丸森町読書感想文大賞	<p>子供や若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図ることや、読書の感動を文章に表現することをおして、より深く読書し、考える力を育むとともに、自分の考えを表現する力を養うことを目的に実施。各部門から表彰作品を選定し、表彰式では審査員の読み聞かせや「森の図書館」を開催し、出席者に選んだ本をプレゼントした。</p> <p>『読書大好き♥感想文大賞』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品点数 ①小学生の部 50点 ②中学生の部 24点 ③一般の部 4点 合計78点 	
読み聞かせ活動の推進	<p>家庭での読み聞かせ活動を定着させ、読み聞かせの機会を増やし、子供が幼児期から本と親しみ、読書の楽しさを感じられるよう、保護者に対して子供への読み聞かせの重要性や、読み聞かせの方法などを学び、家庭における読み聞かせ活動を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座：「～子どもたちにはなぜ『本を読むこと』が必要なのか～」 ・講師：子ども読書コミュニティプロジェクトみやぎ 尾形 陽子 氏 <p>また、読書のすばらしさ、読み聞かせ活動の大切さを伝えるため、読み聞かせ活動をさらに推進するため、読み聞かせボランティア講座を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座：「読み聞かせについて」 ・講師：子ども読書コミュニティプロジェクトみやぎ 尾形 陽子 氏 	<p>こども園・保育所等と連携</p> <p>社会福祉協議会と連携</p>
子育て支援ボランティアの支援	社会福祉協議会と連携・協力し、情報提供等による支援。	



【家庭教育セミナー / 丸森町読書感想文大賞表彰式 / 読み聞かせ講座】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
出前講座による地域学習活動支援	地域の学習要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、地域における学習活動を支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ、レクリエーション ・丸森町に伝わる昔話 ・健康講話 ・防災講話 など 	
ジュニア・リーダーの養成	子ども会の年少指導者であるジュニア・リーダーを養成し、ボランティアや地域活動を推進するため指導及び支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・初級研修会の開催 ・山の子キャンプ活動の指導、支援 ・定例会活動の指導、支援 ・ボランティア活動の推進 ・子ども会や地域行事への派遣 など 	丸森町子ども会育成会と連携



【出前講座（ニュースポーツ / 健康講話 / 防災講話）】



【ジュニア・リーダー活動（初級研修会 / 山の子キャンプ）】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
出前講座による学校教育支援	学校からの要望に応じ、地域人材や各種団体、役場職員等を講師として派遣し、様々な学習活動を支援。 ・創作活動（まゆ細工） ・書道教室（毛筆指導）	



【出前講座（まゆ細工）】



【出前講座（毛筆指導）】

4 成果と課題

- ・地域人材を積極的に活用した「出前講座」が学校や地域活動の場にも定着してきており、受講者だけでなく講師として派遣された地域の方々も地域の子供たちの学習等に関われることに生きがいを感じていることから、相互作用による学習意欲の向上が図られている。しかし、令和元年東日本台風被害により派遣件数が大きく減少し、それ以降は新型コロナウイルス感染症により地域や学校活動に中止や制限があり、件数は横ばいの状態であるため、引き続き、活動に携わる地域住民や地域連携担当と意見を共有しながら、より良い事業のあり方を模索し進めていきたい。
- ・家庭教育に関しても、PTAの教育活動を支援する家庭教育支援講演会事業を行っており、地域の人材を活用した相互作用による学習意欲の向上が図られている。家庭は、子供たちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育はすべての教育の出発点であることから、子育てや家庭教育を支える地域環境の変化に合わせた対応が求められているが、少子化により対象者が減少していることや、特定のボランティアに頼った活動が多いため、支援体制の充実と新たな人材の発掘が課題となっている。
- ・今年度は少子化に伴う小学校再編で町内小学校が8校から2校となった。対象者数が減少しているため、ジュニア・リーダーを志す子供たちの減少も著しく、派遣事業やこれまで培ってきた技術の伝承が課題となっている。様々な体験活動をとおり、人との繋がりを育む活動の場に子供たちが興味や関心を持てるように、学校・家庭・地域との連携を今まで以上に強めながら活動の場を多く提供していきたい。同様に、学校を支える各種団体の高齢化による後継者不足も課題である。

丸森町 丸森町立館矢間小学校 「干し柿づくり」

○市町名 丸森町

○学校名 丸森町立館矢間小学校

○期 日 令和4年11月24日(木)

○内 容

総合的な学習の時間

「干し柿づくり～木になる実～」 16時間

- ・地域でたくさん実る柿を干し柿にする活動とおし、なぜ干し柿が地域の特産となったのか等を調べ、地域で学んだことを発信する。
- ・干し柿作りとおし、地域の人々の思いを知り、地域の良さを引き継いでいこうとする意欲を育てる。

○会 場 旧丸森町立耕野小学校

○講 師

八島 健 氏 (稲穂会・干し柿作り指導)

佐藤 静男 氏 (柿畑管理・柿収穫指導)

○指導補助

谷津 正敏 氏 (稲穂会・干し柿作り)

山崎ミツ子 氏 (稲穂会・干し柿作り)

藤田 しげ 氏 (稲穂会・干し柿作り)

斎藤 達也 氏

(柿収穫・干し柿作り準備・干し柿作り)

土田 晃 氏 (干し柿作り準備・干し柿作り)

○児童の声

・私は、干し柿作りを体験して楽しかったです。自分たちで収穫した柿をむいたり、紐に吊るしたりしました。ピーラーで皮をむくのは楽しかったです。みんなで力を合わせて頑張ったら、たくさんあった柿があっという間になりました。

皮をむいた柿を紐に吊るして、燻蒸して干したら完成を待つだけです。おいしい干し柿になったらうれしいです。



・今日は耕野に干し柿作りに行きました。先日収穫した柿を干し柿にする作業です。ぼくは、柿の皮をむく作業をしました。約400個の柿を、一人12個くらいむきました。みんなで皮をむいているうちにどんどん楽しくなり、先生がコンテナにへた回しをした柿を入れる前にみんなで手を出して待っているくらいでした。

また、干し柿作りをする機会があったら、挑戦してみたいです。なかなかできないことだと思うので、とても良い経験になりました。

・耕野小学校に行って干し柿作りをしました。私はずっと柿の皮をピーラーでむいていました。何回か手を切りそうになりました。最初はむくのが遅かったけど、やっているうちにどんどん慣れて、むくのが速くなってきました。みんなであの大量の柿をむいて、吊るすところまでできて良かったです。袋詰め作業も頑張りたいです。



・今日は干し柿作りでした。耕野小学校でやりました。稲穂会の皆さんや校長先生が手伝ってくれました。僕たちはピーラーで柿の皮をむきました。稲穂会の皆さんみたいにすごい速さでむくことはできなかったけど、皮を残さずにむけたし、変形している柿も上手にピーラーで形を整えながらむけました。何百個もあったのに、みんなで協力したら全部できました。去年も、耕野小学校との交流会で、この干し柿作りを体験していたこともあって、みんな干し柿作りがうまくなっていました。最後に、柿を燻蒸する様子も見せてもらいました。



・今日は、耕野小学校で干し柿を作りました。干し柿作りで頑張ったことが二つあります。

一つ目は、柿の皮むきです。皮むき自体は去年も経験していたので、今年で2回目でしたが、今年に変形柿が多くてむくのが大変でした。でも、2回、3回と皮をむくと皮がむけ、形が整えられてきます。だんだんコツをつかみました。

二つ目は、紐に柿を通す作業です。最初は大きい柿、小さい柿をごちゃごちゃに付けていたけど、稲穂会の皆さんから下に大きい柿を付けた方がいいとアドバイスをもらいながら頑張りました。

みんなで収穫し、作ったので、おいしい干し柿になるといいなと思いました。

○講師から

3校が再編して初めての干し柿作りでした。今年の原因が分からない変形した柿が多く、柿むき作業が大変だったと思います。それでも熱心に作業をしてくれた子供たちに感謝をいたします。私も、小学校の干し柿作りに携わって7～8年くらいになりますが、今後も地域の伝統を守り、地区の人達との交流が続いていけばと思います。約1か月以上干し、干し柿が完成します。おいしい干し柿ができるのを楽しみにしております。
(八島 健氏)



○教職員の声

大張小学校・耕野小学校・館矢間小学校の3校が再編し、令和4年度、新館矢間小学校として本校はスタートしました。館矢間小学校で実施していた活動に加え、大張地区の養蚕・シルク和紙での卒業証書作成、耕野地区の養蜂・干し柿作りを受け継ぎ、さらに総合的な学習の時間も充実したものとなりました。今回の干し柿作りの活動も、耕野地区の皆さんとの交流の中で、地域の伝統を守り、引き継いでいこうとする児童の育成を目指しているものです。児童は、耕野のブランド干し柿「ころ柿」作りをとおり、地区の人々とのつながりや物を作り上げていく大切さを学ぶことができました。

(佐藤 真規子 先生)

○教育事務所から

地域の伝統を大切に守り、引き継いでいこうという思いが伝わる活動でした。地域の方と児童の皆さんが作った「ころ柿」は、食べた人の心を動かすおいしい干し柿になることでしょう。



丸森町立丸森小学校

<教育目標>
 かしく
 やさしく
 たくましく

生き生きと
 活気あふれる学校

地域・児童の実態等を
 踏まえ、心身ともに健康
 で、高い志を持ち、人間
 性豊かな児童の育成に
 努めます。

校園に力強く
 そびえるヒマヤ杉

〒981-2156 伊具郡丸森町字菱川内39番地1 児童数 265名
 電話 0224-72-2140 FAX 0224-72-2164 P会員数 197名

～ふるさと教育の推進～



再編6地区の地域文化を知るふるさと学習
 丸森・葦雨・大内・小資・金山の伝統、文
 化に触れ、ふるさと丸森を広く学びます。

丸森手すき和紙による卒業証書づくり
 6年生が伝統ある丸森和紙一枚一枚を丹
 精込めてすき、卒業証書を作成します。

農業関係者の指導による米作り活動
 農家の方や地域の方々のご指導のもと、
 5年生が米作りを体験します。



丸森町立館矢間小学校

〒981-2102
 宮城県伊具郡丸森町館矢間館山字玉川29-1
 TEL 0224-72-2148 FAX 0224-72-2169
 URL <https://www.town.marumori.miyagi.jp>
 児童数 195人 PTA 会員 143人

ふるさと教育(大張地区, 耕野地区, 館矢間地区)



大張で蚕の学習(6年シルク和紙)

館矢間地区でヤーコンを栽培, 地域の方と料理教室

耕野地区で干し柿作り

丸森町立丸森中学校

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町田町南24番地2 生徒数 278名
 TEL 0224-72-2145 FAX 0224-72-1516 P会員数 246名



模擬議会
 中学生の視点で、これからのまちづくり
 についての意見を町に提言している。



花いっぱい運動
 プランターへの花植えを通して、伊具高
 等学校と交流している。



職業人講話
 地域で働く方から講話をいただき、将来の
 自分の生き方について考えを深めている。

仙南地域の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

視聴覚教材センター（あずなびあ）では、視聴覚教材・機材の整備・貸出、視聴覚教材の情報提供、圏域住民の学習ニーズに応じた学習活動の支援等を行っている。今年度は、デジタル化の推進を受けデジタル講座やイベントの配信支援を実施する機会が多かった。

仙南芸術文化センターでは世代を超えて、広く芸術文化に触れる機会を提供できるよう積極的に事業を展開した。

2 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内容	備考
えず☆スタ 2022	昨年度に引き続き規模を縮小して、様々なワークショップを通じて地域との交流を図る複合的なアートプログラムとして開催。 会場：仙南芸術文化センター，大河原町総合体育館	対象：圏域住民 来場者 423 名
えずっこひろば	仙南芸術文化センター（えずこホール）の住民創造グループの1つである託児ボランティア（えずこキッズクラブ）が月1回開催。	対象：子育て中の親子



【えず☆スタ 2022】



【えずっこひろば】



（2）地域活動支援

事業名	内容	備考
視聴覚教材・機材の整備及び貸出事業	圏域内の学校教育・社会教育関係団体向けに年間をとおして、無料で教材・機材の貸出を行っている。	対象：圏域内学校教育及び社会教育関係団体
各種講座及び学習機会提供事業	学校教育及び社会教育において教育メディアを効果的に活用するため、各種講座を実施。	対象：圏域内住民
うるおいの圏民参加体験事業 (ワークショップ事業)	えずこホールで、ゴスペルやダンス、演劇、照明・音響等、幅広いジャンルを入門編として分かりやすく、楽しい講座を展開している。	対象：講座に応じて



【各種講座及び学習機会提供事業】



【ワークショップ事業】



(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	消防署やえぞこホールにおいて、職場体験を実施。	対象：圏域内中学生・高校生
うるおいの圏民参加体験事業 (アウトリーチ事業)	トップクラスのアーティストによるアウトリーチ事業。小学校等で学校の授業の一環として事業を展開。	対象：小・中学校



【職場体験】



【アウトリーチ事業】



(4) その他

事業名	内容	備考
人材育成事業 (AZ9 ジュニア・アクターズ養成事業)	次代を担う子供たちと地域の文化を「はぐくむ」ことをテーマとし、高度な総合芸術である演劇をとおして、将来の文化活動を担う人材育成を図る。	対象：圏域内小学4～6年生
地域学習教材制作の促進と保存事業	地域学習に効果的な自作視聴覚教材制作の支援，利用促進を図る。	対象：圏域内住民

3 成果と課題

(1) 成果

- ・ 「えぞ☆スタ 2022」については、感染症対策のため予約制とし、人数制限や入れ替え制等の感染症対策を行いつつ、昨年度より会場を広げて実施し、423名の来場者に楽しんでいただき、無事終了することができた。
- ・ 各種講座及び学習機会提供事業については、昨年度に引き続きコロナ禍の状況に合わせ実施し、8回、延べ305名の方々にご参加いただいた。ライブ配信については6回実施した。

(2) 課題

- ・ オンデマンドサービス等の普及に伴い、視聴覚教材センターの教材貸出の件数は今後減少していくと予想される。昨年度に引き続き、オンデマンドサービスではカバーできない地域の伝統行事や技術の記録・保存を兼ねた地域教材制作の支援や、GIGAスクール構想の実現に向けたICT環境に対応した教育内容を支援できる体制にしていく必要がある。